

## マネージメント情報

### ※ラボ OPU-IVF の実績を纏めてみました

ラボの OPU-IVF は 2019 年 4 月から始まりました。今年の 9 月までのデータを整理してみました。最初は卵子の吸引数も発生率も低かったのですが、少しずつ改善されて現在に至っています。

2019 年の 10 月から委託培養が始まり、こちらにも依頼される開業獣医師も徐々に増えていて現在定期的にオホーツク管内から 3 軒、十勝から 2 軒の合計 5 軒の委託培養があります。その内訳は、THMS はホルスタインで委託培養は黒毛和牛がメインとなっています。

【表-1】 2022 年度は 9/8 までのデータ

	THMS	委託培養	合計
<b>2019</b>	<b>142</b>	<b>59</b>	<b>201</b>
<b>2020</b>	<b>427</b>	<b>51</b>	<b>478</b>
<b>2021</b>	<b>489</b>	<b>640</b>	<b>1129</b>
<b>2022</b>	<b>153</b>	<b>423</b>	<b>576</b>
	<b>1211</b>	<b>1173</b>	<b>2384</b>

	THMS	委託培養	合計
<b>ホルスタイン</b>	<b>790</b>	<b>282</b>	<b>1072</b>
<b>黒毛和牛</b>	<b>364</b>	<b>902</b>	<b>1266</b>
<b>シャロレー</b>	<b>44</b>	<b>0</b>	<b>44</b>
<b>ジャージー</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>
<b>ガンジー</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>
	<b>1198</b>	<b>1186</b>	<b>2384</b>

【表-2】 2022 年度は 9/8 までのデータ

発生数と発生率は表-3 の様になっていますが数字は年々上がってきています。

直近の 1 回の OPU-IVF 当たりの発生個数

(凍結可能胚数) はホルスタインが 5.2 個、黒毛和牛が 8.6 個となっています。

【表-3】 2022 年度は 9/8 までのデータ

	培養卵子数	発生数	発生率
<b>ホルスタイン</b>	<b>7,894</b>	<b>2,025</b>	<b>25.7%</b>
<b>黒毛和牛</b>	<b>23,814</b>	<b>7,195</b>	<b>30.2%</b>
<b>全 体</b>	<b>31,708</b>	<b>9,220</b>	<b>29.1%</b>

### ※ラボ預託 OPU 牛舎の進捗状況

基礎工事が終わり牛舎の外観がわかるようになってきました。

10 頭×6 区で 60 頭規模のフリーバーン牛舎でエアコンで室温管理ができる OPU 室と検卵室を備えています。

完成は当初の予定よりも遅れてしまい 11 月になりそうな気配です…。



.....

・ F1 とホルスタインの初生牛始め全ての市場の取引価格が経験の悪い下落をしています。飼養価格はじめ資材等々は逆に考えられない位の高騰です。私の経験ではこういう時はコストカットに走りながら酪農の基本(牛)を守る事が重要です。